

事務事業実績測定調査

事務事業名称	準用河川等維持管理事業														
測定年度	2021 (R3) 年度				部	土木部				課	工事委託課				
市長公約との関係	所信表明			市政運営方針	R2	R3		R4							
総合計画体系	基本目標			1.安全で、利便性の高いまち											
	施策目標			1.災害に対する備えができています											
	実行計画名														
1. 事務事業の概要															
種類	内部管理			特性			内部事務			区分			一般内部管理事務		
事業期間	不明			年度	~							年度まで			
根拠法令等	社会資本整備重点計画法														
関係補助金名称							サンセット								
関係附属機関名称															
事業対象	メインターゲット			準用河川沿線に住む住民すべて											
	サブターゲット			準用河川沿線で事業を行う事業者すべて											
	ターゲットが抱える課題			河川が保全されていないと、大雨時に河川氾濫や、流水機能が妨げられることにより被害が発生する。また、避難の妨げになるため、不安が募る											
	ターゲットが抱える課題														
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	防災力が向上し、被害の発生、避難経路の確保ができる、安心、安全につながる。														
事業概要	<p>準用河川を主として、維持管理のために除草および清掃作業を行うとともに、補修工事等を行うもの</p> <p>【主な事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・準用河川等の除草委託 ・準用河川等の清掃委託 ・準用河川の補修工事 ・急傾斜等の除草委託 ・一般河川の維持管理(分任分) ・その他直営による保全活動 														

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
					準用河川等が適切に維持管理できている。				準用河川等の各種保全活動を行う。					
指標設定	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
	指標説明				各種保全活動に係る当初予算額に対する決算額の割合。 【算出式: 決算額/当初予算額×100】				「準用河川」の除草・清掃にかかる委託・工事の実施回数					
	単位				単位				単位					
	指標種類				減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標					
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績						100以内	100以内	100以内	100以内	2	2	2	2
達成度						141%				0%				
分析						委託の契約差金により予算額と決算額に乖離はあるが、当初に予定していた各種保全活動はすべて実施できている。				当初の予定以外に、要望を受けて流水機能を確保する清掃委託を1件、防護柵補修工事を2件追加する必要があったことから増加しているものである。				

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	1.13
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	18,263	20,729	8,347		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	302	255	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	18,565	20,984	8,347		
	物件費計	52,923	36,810	23,191	36,001	70%
	歳出計	71,488	57,794	31,538		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	10,600	0	0	
	その他	3,436	0	0	0	
	歳入計	3,436	10,600	0	0	
	一般財源	68,052	26,210	23,191	33,000	

5. 総括的分析

総括的分析	R3年度は、委託として八田川他除草委託、車谷川他清掃委託他1件の委託、防護柵補修工事2件を実施した。本事業は、各種委託契約において契約差金が発生したこと、施設の損傷に伴う修繕も少なかったため、R3年度の予算執行率は59.4%にとどまっている。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、準用河川の機能確保のため、年間除草委託及び緊急時の工事対応等ができるように進めていく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	舗装長寿命計画事業										
測定年度	2021(R3)年度			部	土木部			課	工事委託課		
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2	R3	R4					
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち									
	施策目標	1.災害に対する備えができています									
	実行計画名	1-2.防災対策の推進									
1. 事務事業の概要											
種類	内部管理			特性	内部事務			区分	一般内部管理事務		
事業期間	2018(H30)年度			年度	~	年度まで					
根拠法令等	決裁										
関係補助金名称							サンセット	-			
関係附属機関名称											
事業対象	メインターゲット	幹線道路を利用する市民すべて。									
	サブターゲット	幹線道路を利用する事業者すべて。									
	ターゲットが抱える課題	事後保全型の補修では、予想外の財政負担が発生することになり、市民負担の増加、補修作業の遅滞につながる。									
	ターゲットが抱える課題	道路を通行する利用者が円滑かつ安全に通行できないと人の交流及び物流が滞る。									
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	ライフサイクルを見据えた管理が確立されることにより、市民負担が軽減、平準化されると共に、道路を安全・安心に通行できることで、人の交流や、物流が円滑に進んでいる。										
事業概要	道路の大規模修繕、改築までのライフサイクルを延長し、コストの平準化を図るため、平成30年度に策定した舗装長寿命化修繕計画に基づき、5年毎に路面性状調査を実施し、舗装の損傷状況に応じた工法により予防保全型の修繕を行う。 【対象路線】:都市計画道路、主要道路リフレッシュ整備事業路線 【修繕予定延長】:L=37,004m(都市計画道路:9,049m、主要道路リフレッシュ整備事業路線:27,955m)										

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
							「舗装長寿命化計画」通りに舗装補修を行うことにより、市民負担が軽減、平準化されると共に、道路を安全・安心に通行できることで、人の交流や、物流が円滑に進んでいる。				「舗装長寿命化計画」に基づき、舗装補修を行う。			
指標設定	アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
	指標説明						計画予定延長のうち、補修延長の割合 【算出式:補修延長/計画予定延長×100】				舗装補修を実施した年間補修延長距離			
	指標種類	単位					単位 %				単位 m			
	指標数値	R2 R3 R4 R5					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	目標(見込み)						1500/3700 4	2500/3700 4	3500/3700 4	4500/3700 4	1,000	1,000	1,000	1,000
	実績						6.60	8.50			2,436	702		
達成度						206%				70%				
分析						計画予定延長は計画的に進んでおり、達成度を満たしている。				年間補修延長距離の割合が目標値を下回ったのは、R3年度に予定していた工事を国補正予算でR2年度に追加執行したため、R3年度計画分について延長距離減になったものである。				

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.48
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配直をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	6,414	6,380	3,771		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	6,414	6,380	3,771		
	物件費計	4,620	94,559	35,863	68,000	53%
	歳出計	11,034	100,939	39,634		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	84,900	32,200	61,200	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	84,900	32,200	61,200	
	一般財源	11,034	9,659	3,663	6,800	

5. 総括的分析

総括的分析 損傷による事故の未然防止を図る予防保全型の計画である舗装長寿命化計画に基づき、計画的に修繕工事を実施している。R3年度は、長尾春日線他1路線(施工延長702.4m)の工事を実施し、令和4年度に工事を予定している実施設計を行い、事業全体としては計画どおり進捗している。舗装長寿命化修繕計画を策定することで、ライフサイクルコストの逓減や予算の平準化を図ることが見込まれるが、定常的な財政負担は継続していく。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	舗装長寿命化修繕計画に基づき今後修繕工事を実施していく。

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	5.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配直をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	-	-	37,159		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	-	-	0		
	特別職非常勤	-	-	0		
	附属機関委員	-	-	0		
	人件費計	-	-	37,159		
	物件費計	-	-	490,834	511,419	96%
	歳出計	-	-	527,993		
歳入	国庫支出金	-	-	11,466	16,200	
	府支出金	-	-	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	-	-	416,310	404,060	
	市債	-	-	0	0	
	その他	-	-	2,022	1,746	
	歳入計	-	-	429,798	422,006	
	一般財源	-	-	61,036	89,413	

5. 総括的分析

総括的分析 R3年度は、市民・自治会等からの通報、要望や職員によるパトロールに基づく対応を658件、小規模工事・単価契約の道路補修工事を67件実施するとともに、約3,200基ある道路照明の維持修繕、約700箇所ある街路樹等の剪定や除草等の維持管理を行った。
 道路等の維持管理、修繕等に要する経費は年々増加傾向にあり、限られた予算の中で優先順位を立てて予算執行している。また、道路・橋梁施設の保全や除草などの維持管理に係る委託や小規模修繕のほか、費用対効果や即応性から委託等がなじまない道路補修や市民の安全に直結する道路の陥没や穴ぼこなどの緊急対応、災害時の対応を直営施行にて行っている

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	市民が安全で安心して利用できるよう、道路施設の維持管理を適切に行っていく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	官民連携公園施設管理運営事業													
測定年度	2021(R3)年度				部	土木部				課	工事委託課			
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3			R4					
総合計画体系	基本目標		5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち											
	施策目標		24.まちなかのみどりを育てるまち											
	実行計画名		24-1.公園施設の整備と維持管理											
1. 事務事業の概要														
種類	市民サービス			特性				選択的事业			区分		一般事務事業	
事業期間	不明			年度	~							年度まで		
根拠法令等	都市公園法、地方自治法													
関係補助金名称	サンセット													
関係附属機関名称														
事業対象	メインターゲット	公園において、スポーツを楽しみたい市民、花や緑に触れ合いたい市民、読書などでくつろぎたい市民												
	サブターゲット	公園のパブリックスペースを活用してイベント催事などを開催したい市民団体、事業者												
	ターゲットが抱える課題	身近でスポーツを楽しんだり、花や緑に触れ合ったり、読書などでくつろげたりできる、市民相互の交流の場が少ない。												
	ターゲットが抱える課題													
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	公園の持つ機能を活かし、市民や事業者、行政が協働で公園を活用することで新たな魅力化を図り、市民相互の交流の場が創造される。													
事業概要	<p>民間事業者に公園施設の指定管理運営を委託することで、市民(団体)の利用手続きについて簡素化を図ると共に、魅力的で集客効果のあるイベントを開催させるとことで、利用頻度・満足度を向上させる。 なお、施設の指定管理の方法については、公園の施設種別、目指す利用状況等に合わせて委託する。</p> <p>【指定管理の種類】 都市公園有料施設(王仁公園、中の池公園、香里ヶ丘中央公園の運動施設) 鏡伝池緑地(市民の森) 香里ヶ丘図書館・香里ヶ丘中央公園みどりの広場(令和2年度指定管理開始) ※香里ヶ丘中央公園の有料化可能な施設(駐車場含む)については、平成30年度から再整備を実施中</p>													

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム(活動効果)	新たなスポーツの機会を創出するとともに市民相互の交流の場が創造され、市民満足度が上がる。				アウトプット(活動結果)	スポーツ教室、イベント等を実施することで、市民相互の交流の場が創造される				インプット(活動)	運動広場などの公園有料施設にて、各種スポーツ教室、イベント等を実施。			
	指標説明	利用者アンケートによる満足度【算出式:満足と回答した人数/アンケートに回答した人数×100】				各年度における運動広場などの公園有料施設(プール除く)における教室、イベント参加者数	各年度における運動広場などの公園有料施設(プール除く)における教室、イベント開催数								
指標設定	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標(見込み)	70	75	75	75	3,700	3,800	3,800	3,800	100	110	110	110		
	実績	69	61			461	2,160			25	108				
	達成度	81%				57%				98%					
分析	コロナ禍の影響によりイベントを中止したことや、参加者数を制限したことが満足度の低下に繋がったと考えられる。				コロナ禍の影響によりイベントを中止したことや、参加者数を制限したことによって、目標に達しなかった。				コロナ禍による影響を受けたものの、イベントを分散開催したことで概ね目標が達成できた。						
ロジックモデル②	アウトカム(活動効果)	新たなスポーツの機会を創出するとともに市民相互の交流の場が創造され、市民満足度が上がる。				アウトプット(活動結果)	イベントを実施することで、市民相互の交流の場が創造される。				インプット(活動)	鏡伝池緑地(市民の森)にて、各種イベントを実施。			
指標設定②	指標説明	利用者アンケートによる満足度【算出式:満足と回答した人数/アンケートに回答した人数×100】				各年度における鏡伝池緑地(市民の森)における入園者数	各年度における鏡伝池緑地(市民の森)における講習会、展示会の開催数								
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標(見込み)	70	75	75	75	49,000	50,000	50,000	50,000	30	32	32	32		
	実績	69	61			64,762	61,867			12	35				
達成度	81%				124%				109%						
分析	コロナ禍の影響によりイベントを中止したことや、参加者数を制限したことが満足度の低下に繋がったと考えられる。				新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、外で遊べる公園の需要が高まっていると推測される。				年度当初、コロナ禍の影響を受けたものの、計画的にイベント開催した。今後も継続的に開催手法等を検証していく。						

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル③		新たなスポーツの機会を創出するとともに市民相互の交流の場が創造され、市民満足度が上がる。				イベントを実施することで、市民相互の交流の場が創造される。				香里ヶ丘中央公園みどりの広場にて、各種イベントを実施。			
指標設定③	指標説明	利用者アンケートによる満足度 【算出式:満足と回答した人数/アンケートに回答した人数×100】				各年度における香里ヶ丘中央公園みどりの広場におけるイベント参加者数				各年度における香里ヶ丘中央公園みどりの広場におけるイベント開催数			
		単位		%		単位		人		単位		回	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	70	75	75	75	240	260	280	280	12	13	14	14
	実績	69	61			89	145			7	10		
	達成度	81%				56%				77%			
分析	コロナ禍の影響によりイベントを中止したことや、参加者数を制限したことが満足度の低下に繋がったと考えられる。				前期のコロナ禍の影響によりイベントを中止したこと、その後のイベントの実施時の参加者数を制限したため目標に達成しなかった。				コロナ禍の影響により、年間通じてイベント実施出来なかった。				

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	2.10
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.12
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	38,880	23,657	15,835		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	336	96		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	38,880	23,993	15,931		
	物件費計	137,598	94,397	91,357	97,920	93%
	歳出計	176,478	118,390	107,288		
歳入	国庫支出金	8,700	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	8,700	0	0	0	
	一般財源	167,778	94,397	91,357	97,920	

5. 総括的分析

総括的分析 R3年度当初は、新型コロナウイルス感染症の影響により、イベント自粛や施設の利用停止が続き、イベントの開催数や参加者数は減少した。また、東部公園の指定管理者制度の導入について、トライアルサウンディングによる市場性の調査のため公募等の準備を進めたが、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった。コロナ過の中で、外で利用できる公園の需要は高まってきており、指定管理者制度を効果的に活用し、魅力ある公園施設の提供に努め、多様化・高度化する市民ニーズに対応していく。

6. 今後の方向性

区分	拡充
今後の取組方針	公園のスケールメリットを活かした指定管理者制度のもとソフト事業の充実を図り、公園の活性化・利活用について検討する。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	星ヶ丘公園整備事業													
測定年度	2021(R3)年度				部	土木部				課	工事委託課			
市長公約との関係	所信表明			市政運営方針	R2	R3			R4					
総合計画体系	基本目標			5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち										
	施策目標			24.まちなかのみどりを育てるまち										
	実行計画名													

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス			特性	選択的事业			区分	一般事務事業				
事業期間	2010(H22)年度				年度	~			年度まで				
根拠法令等	決裁												
関係補助金名称								サンセット					
関係附属機関名称													
事業対象	メインターゲット	星ヶ丘公園近隣に住む住民すべて。											
	サブターゲット												
	ターゲットが抱える課題	市街地に市民の憩いの場所や自然林が少ない											
	ターゲットが抱える課題												
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市民の憩いの場所を提供すると共に、市街地に残された自然林を保全していくことで、人の交流や、子供達の交流が円滑に進む。												
事業概要	都市計画公園である星ヶ丘公園を整備していく。												

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル		市民の憩いの場所を提供すると共に、市街地に残された自然林を保全していくことで、人の交流や、子供達の交流が円滑に進む。				取得した用地について、適切な整備を行う。				用地取得を行う。			
	指標説明	公園整備地域住民一人あたり公園面積の増加				整備面積				用地取得面積			
指標設定	指標種類	単位				単位				単位			
		㎡				㎡				㎡			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	実績	0	0			0	0			0	0		
達成度	0%				0%				0%				
分析	住民一人あたりの公園整備面積は2.54㎡で、R2年度から横ばいである。				財政状況等の関係から未買収用地の取得に課題があるため、R3年度の実績はなし。				財政状況等の関係から未買収用地の取得に課題があるため、R3年度の実績はなし。				

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	1.56
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	6,093	14,196	12,257		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	6,093	14,196	12,257		
	物件費計	35,583	0	0	0	—
	歳出計	41,676	14,196	12,257		
歳入	国庫支出金	13,120	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	13,120	0	0	0	
	一般財源	28,556	0	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	星ヶ丘公園の整備については、平成22年度から公園南側の自然林部分の用地取得を開始し、平成24年度に第1工区を、平成27年度は第2工区の整備を行い、散策路を一部開放した。平成29年度は用地取得を行った。また、平成30年度及び令和元年度に第3工区の整備を行い、散策路及び管理用通路を全面開放した。 本事業は、財政状況等の関係から未買収用地の取得に課題があるため、現時点では事業を実施できる状況にない。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	休止
今後の取組方針	財政状況等の関係から未買収用地の取得に課題があるため、事業を休止する。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	都市計画公園車谷公園改修事業													
測定年度	2021(R3)年度				部	土木部				課	工事委託課			
市長公約との関係	所信表明			市政運営方針	R2	R3	R4							
総合計画体系	基本目標			5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち										
	施策目標			24.まちなかのみどりを育てるまち										
	実行計画名													

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス			特性	選択的事业			区分	一般事務事業			
事業期間	2019(R1)年度			年度	~	年度まで						
根拠法令等	決裁											
関係補助金名称								サンセット				
関係附属機関名称												
事業対象	メインターゲット			車谷公園の近隣に住む住民すべて。								
	サブターゲット											
	ターゲットが抱える課題			車谷公園が大阪府施工の都市計画道路内里高野道線の道路用地にかかることから、公園面積が減少する。								
	ターゲットが抱える課題											
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	平成27年度に都市計画変更を行った区域において公園整備を行い、道路事業によって失われたまちなかのみどりや憩いの場を創出し、近隣住民に提供する。											
事業概要	当事業は、都市計画変更を行った区域の用地取得を行い、公園として整備するものです。											

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)				
						計画どおりに整備が進む。				取得した用地において、公園整備を行う。			
指標設定	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)				
	指標説明					整備計画の進捗率 【算出式: 公園整備面積 / 公園整備計画面積 × 100】				公園整備面積			
		単位				単位 %				単位 m ²			
	指標種類					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)					0	0	100	-	0	0	417	-
	実績					0	0			0	0		
達成度					0%				0%				
分析					地権者からの用地売却申出を受けて、予算確保等を行うため、R3年度の進捗はなし。				地権者からの用地売却申出を受けて、予算確保等を行うため、R3年度の進捗はなし。				

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	1.56
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	6,414	14,196	12,257		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	6,414	14,196	12,257		
	物件費計	3,080	0	0	0	—
	歳出計	9,494	14,196	12,257		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	9,494	0	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析 本事業は、大阪府事業「都市計画道路内里高野道線」整備において、車谷公園の一部敷地が道路用地となることから、都市計画変更を行い公園の改修を行うものであるが、現時点で用地取得方法がなく、当該用地地権者より土地売買の申し入れ意向があった場合、他の都市計画公園との優先順位等を勘案し検討していく必要がある。
 内里高野道線による車谷公園の切り取り部分の公園整備工事については大阪府で実施され、R3年度から工事着手しR4年度に完了する予定である。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	大阪府による内里高野道線の工事進捗を確認し、公園整備内容を協議していく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	王仁公園施設再編計画策定・推進事務													
測定年度	2021(R3)年度				部	土木部				課	工事委託課			
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2	○	R3			R4					
総合計画体系	基本目標		5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち											
	施策目標		24.まちなかのみどりを育てるまち											
	実行計画名		24-1.公園施設の整備と維持管理											
1. 事務事業の概要														
種類	市民サービス			特性			選択的事业			区分			一般事務事業	
事業期間	2020(R2)年度				年度	~							年度まで	
根拠法令等	決裁													
関係補助金名称												サンセット	-	
関係附属機関名称														
事業対象	メインターゲット		スポーツや健康増進の場に加えて、イベントやまちづくり事業などによって魅力アップした公園利用の機会を得たい市民											
	サブターゲット		多様な主体の連携によって公園を利活用したい市民団体、事業者等											
	ターゲットが抱える課題		気軽にスポーツや健康増進ができる公園がない。 魅力ある施設やイベントを行っている公園が少ない。											
	ターゲットが抱える課題													
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	民間の創意工夫を取り入れた整備、管理により、公園の魅力やサービスの向上が図れる。加えて、老朽化し質の低下した施設の更新が進むことで公園の利便性、安全性が高まり、ターゲットのニーズを満足できる公園となる。													
事業概要	<p>王仁公園は市の東部に位置する総合公園で、公園内には屋外プール、運動広場、テニスコート等のスポーツ施設をはじめ芝生広場やピオトープなどがある。本公園は昭和46年の開設から50年近くが経過するため、施設の老朽化や公園利活用の増進が課題となっている。</p> <p>王仁公園を多くの市民に安全に安心して快適に利用し続けていただくためには、現在、導入している指定管理者制度などの公民連携を更に発展させ、民間事業者のノウハウやアイデアを積極的に取り入れながら、市民ニーズの変化に対応できる公園機能の導入や拡充を図るとともに、公園の維持管理の質を高めることなどにより公園の再生を進めていく必要があり、王仁公園を市民にとって魅力のある、利用したいと思える公園とするための指針として、王仁公園の再整備と管理・運営の基本方針を策定を行う。</p>													

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)			
	市民のニーズを満足できる王仁公園となっている。				民間活力を活用し、多様な主体の連携によって公園が魅力アップし、公園利用者数が増える。				パークマネジメントの考え方を取り入れ、民間活力の活用を含めた整備を行う。			
指標設定	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)			
	市民の王仁公園に対する満足度 ※R4目標からR5目標の指標数値の減少は、施設再編のため。 【算出式:利用者アンケートで満足と回答した数/利用者アンケート回答数×100】				公園有料施設・便益施設等の利用者数 ※R4目標からR5目標の指標数値の減少は、施設再編のため。				・PPP/PFI手法により民間事業者が設置する飲食店等の施設の誘致数			
	単位				単位				単位			
	%				人				件			
	指標種類				指標種類				指標種類			
	R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5			
	70 75 75 75				90,000 90,000 90,000 20,000				0 0 0 0			
69 61				30,000 40,000				0 0				
達成度				達成度				達成度				
81%				44%								
分析				分析				分析				
新型コロナウイルス感染症の影響によりプールや公園有料施設を一時閉鎖したことにより、利用者の満足度が低下したと考えられる。				新型コロナウイルス感染症の影響でプールや公園有料施設を一時閉鎖したことにより利用者数が減少した。				コロナ禍において、サウンディング調査等を実施できず、事業者の募集を見送った。				
ロジックモデル②	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)			
	市民のニーズを満足できる王仁公園となっている。				王仁公園施設再編計画策定について、円滑に進める。				王仁公園施設再編計画の策定事務に取り組む。			
指標設定②	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)			
	市民の王仁公園に対する満足度 ※R4目標からR5目標の指標数値の減少は、施設再編のため。 【算出式:利用者アンケートで満足と回答した数/利用者アンケート回答数×100】				王仁公園施設再編計画策定進捗率				計画策定に係る庁内委員会等の開催回数			
	単位				単位				単位			
	%				%				回			
	指標種類				指標種類				指標種類			
	R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5			
	70 75 75 75				- 100 - -				- 3 - -			
69 61				- 100				- 4				
達成度				達成度				達成度				
81%				100%				133%				
分析				分析				分析				
新型コロナウイルス感染症の影響によりプールや公園有料施設を一時閉鎖したことにより、利用者の満足度が低下したと考えられる。				コロナ禍の制約のなか、計画的に検討を進めた。				事業の方向性・進捗について、適時報告した。				

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	4.46
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	—	40,274	35,042		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	—	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	—	40,274	35,042		
	物件費計	—	6,325	23,887	25,098	95%
	歳出計	—	46,599	58,929		
歳入	国庫支出金	—	0	10,000	10,000	
	府支出金	—	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	—	0	0	0	
	市債	—	0	0	0	
	その他	—	0	0	0	
	歳入計	—	0	10,000	10,000	
	一般財源	—	6,325	13,887	15,098	

5. 総括的分析

総括的分析	より良い市民サービスの提供と維持管理の効率化を図るため、気軽にスポーツや余暇を楽しめる魅力あふれる公園のあり方の検討を進め、パークマネジメントの考え方を取り入れながら、民間活力の活用を含めた基本方針の策定に取り組んできた。 R3年度は、市民アンケートや民間サウンディングによる市場性等を再調査し、様々な提案を求めたが、コロナ禍の影響から段階的な活性化と再整備を目指すことを基本方針に定めた。今後は、本方針に基づき指定管理制度を公園全体に拡大し、P-PFIによる新たな公園施設も誘致し、その検証を進めながら、社会情勢の変化を踏まえた公園の再整備・活性化を目指す。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	拡充
今後の取組方針	民間の創意工夫を取り入れた整備、管理により、公園の魅力やサービス向上につながり、市民ニーズを満足できる公園となるよう努めていく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	都市公園等維持管理事業(工事委託)											
測定年度	2021(R3)年度			部	土木部			課	工事委託課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	R3		R4					
総合計画体系	基本目標		5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち									
	施策目標		24.まちなかのみどりを育てるまち									
	実行計画名											
1. 事務事業の概要												
種類	内部管理			特性			内部事務			区分		
事業期間	2004(H16)年度			年度	~					年度まで		
根拠法令等	都市公園法、枚方市都市公園条例											
関係補助金名称							サンセット					
関係附属機関名称												
事業対象	メインターゲット		公園利用者すべて。									
	サブターゲット											
	ターゲットが抱える課題		公園利用者が円滑かつ安全に利用できないと人の交流及び子供達の交流が滞る。									
	ターゲットが抱える課題											
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	公園を安全・安心に利用できることで、人の交流や、子供達の交流が円滑に進む。											
事業概要	公園緑地等725箇所、樹木管理全般及び除草や施設の補修改良工事の実施、施設遊具の点検及び塗装や修繕等の維持管理を行う。											

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)					
						都市公園が適切に維持管理できている。				都市公園の施設保全や保守点検等を行う。				
指標設定	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)					
	指標説明				各種保全活動に係る当初予算額に対する決算額の割合。 【算出式: 決算額/当初予算額×100】				都市公園の各種保守点検等実施回数 【春期剪定3件/夏期剪定6件/冬期剪定6件/草刈9件/害虫防除3件/緑地管理4件/駅前花壇他6件/施設点検7件/排水管他清掃1件/巡回警備4件/遊具塗装4件】					
	単位				単位				%					
	指標種類				減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績						100以内	100以内	100以内	100以内	53	53	53	53
達成度						93%				96%				
分析						公園緑地等の維持管理、修繕等に要する経費は年々増加傾向にあり、予算の範囲内で最大限の対応を行っているため高い予算執行率となっている。				同種の委託を集約することで回数は減少したが、当初予定していた各種点検や委託等はすべて実施できている。				

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	1.63
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.15
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	-	-	12,807		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	-	-	172		
	特別職非常勤	-	-	0		
	附属機関委員	-	-	0		
	人件費計	-	-	12,979		
	物件費計	-	-	455,858	478,095	95%
	歳出計	-	-	465,436		
歳入	国庫支出金	-	-	0	0	
	府支出金	-	-	231	236	
	受益者負担(使用料・手数料)	-	-	5,625	5,003	
	市債	-	-	0	37,500	
	その他	-	-	2,605	2,222	
	歳入計	-	-	8,461	7,461	
	一般財源	-	-	443,996	467,404	

5. 総括的分析

総括的分析	公園や緑地の樹木管理及び除草や施設の補修改良工事の実施、施設遊具の塗装や点検及び修繕等を実施している。R3年度は、日常点検や市民・自治会等からの通報、要望336件等に基づき除草や遊具の修繕等を行うなど、公園緑地等725箇所の維持管理を行った。公園や緑地等の維持管理、修繕等に要する経費は年々増加傾向にあり、限られた予算の中で優先順位を立てて予算を執行している。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、都市公園等の維持管理を適正に実施していく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	公園施設長寿命化計画に基づく改築等事業							
測定年度	2021(R3)年度		部	土木部		課	工事委託課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	R3	R4		
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり					
	施策目標		31.持続可能な行財政運営を進めます					
	実行計画名							

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2014(H26)年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称					サンセット
関係附属機関名称					

事業対象	メインターゲット	公園近隣に住む住民すべて。
	サブターゲット	
	ターゲットが抱える課題	事後保全型の補修では、予想外の財政負担が発生することになり、市民負担の増加、補修作業の遅滞につながる。
	ターゲットが抱える課題	公園利用者が円滑かつ安全に利用できないと人の交流及び子供達の交流が滞る。

めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	ライフサイクルコストが確立されることにより、市民負担が軽減、平準化されると共に、公園を安全・安心に利用できることで、人の交流や、子供達の交流が円滑に進む。
---------------------------	---

事業概要	<p>安全性の確保及びライフサイクルコスト削減することを目的に、予防保全の観点で定めた「公園施設長寿命化計画」に基づき、計画的に公園施設の更新・改築等を行う。</p> <p>【対象公園】 都市公園:84か所</p> <p>【計画期間】 平成25年～令和5年(10か年)</p> <p>※予防保全 完全に壊れてから更新するのではなく、損傷状況を事前に予測し、保全処理を行うことで、施設のライフサイクルを延長させる維持方法。(対義語:事後保全)</p>
------	--

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
						計画通りに公園施設の更新・改築等が出来ている。				「公園施設長寿命化計画」に基づき、公園施設の更新・改築等を実施する。			
指標設定	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
	指標説明					「公園施設長寿命化計画」の実施達成率				公園施設の更新・改築件数			
	指標種類	単位				単位 %				単位 件			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					70	80	90	100	18	20	15	12
	実績					83	83			22	0		
達成度					104%				0%				
分析					令和3年度については、計画実施が進んでいることから、R4年度に実施する公園施設の更新・改築等にかかる実施設計委託のみを行った。				令和3年度については、計画実施が進んでいることから、R4年度に実施する公園施設の更新・改築等にかかる実施設計委託のみを行った。				

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	1.45
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.33
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	9,781	9,730	11,393		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	1,258	379		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	9,781	10,988	11,772		
	物件費計	43,001	76,456	4,882	45,000	—
	歳出計	52,782	87,444	16,654		
歳入	国庫支出金	14,000	24,500	1,500	15,000	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	45,700	1,500	30,000	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	14,000	70,200	1,500	0	
	一般財源	38,782	6,256	3,382	0	

5. 総括的分析

総括的分析 公園施設の老朽化が進行する中で、安全性の確保とライフサイクルコストの縮減を図るため、H25年度に策定した公園施設長寿命化計画に基づき、国庫補助金の活用を図りながら計画的に公園の改築・改良工事を進めている。R3年度は、二の宮公園他7公園における遊具の更新に向けた実施設計を行い、武生田緑地では四阿の補修に向けた実施設計を行い、事業全体としては計画どおり進捗している。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	今後も公園施設長寿命化計画に基づき計画的に順次更新工事を進めていく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	工事委託課運営業務													
測定年度	2021(R3)年度				部	土木部				課	工事委託課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		9.施策体系外											
	施策目標		99.施策体系外											
	実行計画名													
1. 事務事業の概要														
種類	内部管理				特性	庶務的事務				区分	庶務的内部管理事務			
事業期間	不明				年度	~				年度まで				
根拠法令等	決裁													
関係補助金名称											サンセット			
関係附属機関名称														
事業対象	メインターゲット		課職員											
	サブターゲット													
	ターゲットが抱える課題		課の運営を円滑に図る必要がある。											
	ターゲットが抱える課題													
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	課の運営が円滑な状態にある。													
事業概要	<p>工事委託課の事務事業が効率的に執行されるよう課内の連絡調整を図る。また、庶務事務や道路補修及び公園に関する市民等の要望対応を行う。</p> <p>①連絡調整事務 予算・決算、各種照会・回答等について、課内の連絡調整及び執行管理</p> <p>②庶務事務 工事委託課在籍職員の出退勤、休暇申請等の管理・報告、会計年度任用職員の報酬関係の報告等</p> <p>③要望対応事務 道路補修及び公園に関する市民等の要望等の対応</p>													
2. ロジックモデル及び指標設定														
ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
指標設定	指標説明													
	指標種類		単位		単位		単位		単位		単位		単位	
	指標数値	目標(見込み)	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		実績												
	達成度													
	分析													

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	-	-	0		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	-	-	0		
	特別職非常勤	-	-	0		
	附属機関委員	-	-	0		
	人件費計	-	-	0		
	物件費計	-	-	202	408	-
	歳出計	-	-	202		
歳入	国庫支出金	-	-	0	0	
	府支出金	-	-	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	-	-	0	0	
	市債	-	-	0	0	
	その他	-	-	0	0	
	歳入計	-	-	0	0	
	一般財源	-	-	202	408	

5. 総括的分析

総括的分析	<p>予算・決算、各種照会・回答など室内の連絡調整及び執行管理、室在籍職員の出退勤、休暇申請等の管理・報告などの庶務事務全般と、工事委託課特有の事務である道路補修及び公園補修に関する市民等の通報・要望等に対応を要する業務となっている。 通報・要望等については、災害情報システムを活用して補修内容に応じた伝票を作成しているが、実態として現場対応は紙ベースが主流なため、電子化や効率化のためのさらなるICTの利活用について研究が必要である。</p>
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	工事委託課の事務事業について、みち・みどり室内の3課で連携を図りながら、円滑で効率的な運営を進めていく。